



平成29年度三沢小研修の構想図

教育目標

『かしこく なかよく たくましく』

目指す学校像

『明るく、活気に満ちた、笑顔あふれる学校』

目指す児童像

「知ろうとする意欲のある子」(知) 「自分や友達を大切にする子」(徳) 「健康でがんばりのきく子」(体)

【研究主題】

「わかる喜びを味わい、確かな学力を身につける児童の育成」
～小規模校の特色を生かし、一人一人に目を向けた指導法の工夫～



【研究仮説】



授業において、指導法を工夫し、教師が授業力を高めれば、児童に確実に学習内容が身につく、わかる喜びを味わわせることができるであろう。

学習環境を工夫すれば、児童の興味・関心を高めることができるであろう。

家庭と連携し、家庭学習と授業を連動させた学習を工夫すれば、家庭学習が習慣化され、確実に確かな学力が身につくであろう。

指導法研究部

- 1 原則として全担任が「模擬授業」を行う。
- (1) 場所：学習室2
- (2) 時間：30分程度
(あらかじめ授業計画を立てる)
- (3) 教科：算数・国語中心に。
(他教科でもかまわない。)
- (4) 方法：職員を「子役」として授業を行う。10～15分程度授業し、20分程度、全員で検討する。意見を交換し、代案を出し合う。児童にとってよりわかりやすい指導法を追究する。指導案は不要。教科書が必要な場合は、コピーを人数分用意する。
- 2 希望者が「公開授業」を行う。

調査環境整備部

- 1 算数の興味関心を高める
★算数面白コーナーの設置継続
→さらにパワーアップさせ、果学調の結果やワークテストの結果から実態に応じた領域や単元を意識した出題とする。学期毎に賞状を校長先生から授与する。
- 2 エビデンスを保障する
★単元テストの各児童の得点率を単元毎に入力するエクセルファイルを作成し、全校で把握し、どの子が、どの学年が、どこで躓いているのかを理解し、授業改善に生かす。

家庭との連動・皆野町

- ・自主学習ノートの活用
- ・自主学習の時間の工夫
- ・家庭との連携の工夫
- ・ST(算数)の工夫 等
- ・「三沢っ子学力向上だより」の定期的な発行



教師の力量形成
教師力・授業力・指導力

意欲的
主体的学習態度の育成
学習の生活化の醸成

家庭学習の習慣化
家庭との連携・連動

確かな学力と学習好きな児童へ